

中学校道徳教科書は「学研」に決定 採択の教育委員会を傍聴

7月26日に教育委員会があり、来年度から使用される中学校の道徳教科書の審議・採択が行われました。組合関係者、教科書会社関係者、市民など多くの傍聴者が詰めかける中、教育委員の方々の真剣で熱心な審議により、来年度からの教科書は現在副読本として採用している「学研」の教科書が採択されました。

【選考委員による投票結果】

学研	73	学校図書	50
日文	66	教育出版	45
光村	56	あかつき	45
東京書籍	52	日本教科書	37

冒頭、審議・採択の続きが提案され、最終的には教育委員5名の無記名投票で決することが確認されました。

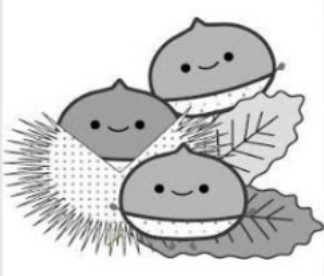
■選考委員からの報告

はじめに8社の教科書を専門的な立場から研究してきた選考委員からの報告がありました。傍聴者にも資料が配られました(今年から実施)。指導領の目的との関わりなど、いくつかの観点に沿って各教科書がどう記載されているのかが報告されました。

この報告を聞いただけでは、正直選びようがないと思われました。しかし、最後に、選考委員全員による投票結果というものが発表されました。選考委員15名が一人5点満点で各社の教科書を評価し、75点満点で合計点を報告しました。(左上表) 点数が高い上位3社の学研、日文、光村が、選定委員会からは推薦されました。

■展示会の市民の声、学校からの声

次に教育委員の質問に答える形で、展示会での声として、①中学生は、話し合いが苦手。テーマが出ていろいろな意見が出る教科書がいい。②道徳には正解がないので、教師側の進め方が大事という意見があったことが報告されました。また、学校からの調査報告として日文・学研がそれぞれ7票の最高点であること。日文のものは、別冊ノートがあり指導、評価がしやすいこと、学研は主題名を載せず教員の工夫で授業を進められることが推薦



【教育委員5名による投票結果】

学研	25	学校図書	17
日文	20	教育出版	17
光村	20	あかつき	16
東京書籍	19	日本教科書	14

の主な理由であることが報告されました。

■教育委員による審議

この後、教育委員による審議に移りました。熱心な審議がされましたが、それぞれの委員の発表的なものでした。

【印象に残った発言】

○道徳は資料分析が大切。これまでの副読本に載っていた資料が多く残されているものが多い。
○教員には、若手からベテランまでいる。どの教員にも、「考え、議論させる」教科書でいいの。
○現代的なテーマをどれだけ扱っているかが大事。
○教科書に、学習の流れ的なものが細かく載っているものは、生徒の考えを誘導してしまうのでは

ないか。
○教科書が非常に重くなっている。
■教育員による投票
最後に教育委員による投票が行われました。一

人勸 定年 年収で平均三万一千円増 六〇歳から六五歳へ

昨年の小学校の教科書採択の時は、教育委員が別室に行き秘密会での採択でしたが、昨年から傍聴者の目の前で一人5点満点で各社に点数をつけ、その最高点を採択すると

いう透明性の高いものでした。(それぞれの委員が、どの教科書に何点をつけたかはわからない投票)その結果、最高点の学研が採択となりました。(投票結果は上の表)

8月10日、人事院は勧告および定年を段階的に引き上げるための意見の申出を行いました。人事院勧告は国家公務員に係わるものですが、地方公務員もこの勧告に追随する傾向にあり、埼玉県でも同様な勧告(人事委員会)が予想されます。県の場合には、条例の改正

を受けての支給となるため、月例給与とボーナスの上乗せ分は、12月議会以降に支払われます。働き方改革が問題になっていますが、定数増や教職員の場合には教職調整額4%を廃止して、残業代を出すなどの抜本的改革案を出してほしいものです。

人事院はあわせて、定年を60歳から段階的に65歳に引き上げるべき旨の申し出をしています。政府は、二〇二一年度から3年ごとに定年を1歳引き上げ、33年度に定年を65歳にする方向で検討するようです。二一年↓61歳、二四年↓62歳、二七年↓63歳、三〇年↓64歳、三三年↓65歳ということです。

既に人事院は、11年(平成23年)の段階で同様の意見の申し出を行っており、政府は検討会を設置。その結論は「65歳への段階的引き上げが妥当」というもので、今回はそれを受けての提案をしているわけですが。数年内に定年が延長されていくのは確定的と言っているでしょう。

【勧告の概要】

- 給与面 年収で約31000円の増
- ボーナスは0.05月分増やし、年で4.45月分(約2万円の増)
- 月収は平均で655円増(年7860円)
- ・初任給は月1500円増
- ・30歳くらいまでは月1000円くらい増
- ・50歳くらいだと月400~500円くらいの増
- 定年延長については、2021年から3年おきに定年を延長し2033年に65歳とする方向で検討をしていく。